

## 講演会・全体会午前の部

**司会者 (be)** ただ今より、講演会ならびに全体会午前の部を行いたいと思います。午前の部の司会を担当させていただきます八万中学校2年 be, 八万中学校2年 bg です。よろしくお願いします。

それでは、早速講演会に移りたいと思います。パネリストは、チェリーさん、はなちゃんさん、コーディネーターは吉成正土さんです。どうぞ、よろしくお願いします。

**吉成** 皆さんこんにちは。1年ぶりですかね。去年はね、シンジさんとはなちゃんの二人の予定だったんですけど、はなちゃんが急に来れなくなってね、シンジさんと私が刺しの勝負みたいな感じでね。今日もシンジさん来ていただいています。ホント去年も、すごい大事な時間をもらったな、一日だったなって今でもよく覚えています。娘さんを連れて来てね、どうするのかっていう話を、熱を込めてここでしてくれたんですけど。今日は去年来れなかったはなちゃん。そりゃ来なアカンやろ、ということで来てくれたのと、それともう一人。チェリーさんで、どこの国の人かっていう話にもなるんですが、またそのいきさつも話をしてくれると思うんですけど。お二人から話をしてもらったうえで、1時間くらい、11時半くらいまでみんなに話を聞いてもらって、そのあと皆さんから意見とか、感想とかを伺えたらなと思いますので、どうぞ長時間になりますけどよろしくお願いします。

それじゃあまず、昨年話ができなかったはなちゃんから。はなちゃん自己紹介もこのあとしてくれると思うんですけど、結構な長いつき合いです。中学時代からですもんね。学校は違うんです。私とは違う学校で、はなちゃんは大麻中学校。この校区の生

徒だったんですけども。ずっとこの会に来てくれたので、何かの縁がずっと続いて、高校生になっても続いて、就職してからも続いて。ここでも話をしてもらってて続いてきています。だから皆さん、考えてみてください。今皆さんそこで座っているでしょ。いつかここに座るんですよ。分かります？皆さん今はそこに座ってますけど、いつかはここに座る時がくるんです。そんなイメージを持って聞いてください。

いろんな話をしてくれると思うんですけど、まずは何から行きましょうか。自己紹介から行きましょうか。そのあたりの話を、じゃあお願いします。はなちゃんです。



**はなちゃん** 十何年前前に大麻中学校を卒業しましたはなちゃんです。去年はここに座らせてもらう予定だったんですけど、流行り病のコロナのせいで来れなくなって、シンジさんを一人にしてしまっただけで済んでした。今回ベンジということで来させていただいたんですけど。さっきも言ったように中学生から中学生集会に参加してきたのと、あと小学校のときからも人権学習に参加してきて。自分の住んでいるところが被差別部落っていうのもあるのと、正直中学生集会に参加し始めたきっかけが、お菓子やらおにぎりやらジュースやらが出たんですよ。中学生集会に参加すると。なので、学校が終わって家に帰って、ご飯までの間のつなぎとして、食べに行こうかな、

みたいなんで参加したっていうのが、ほぼ8割ぐらいです。私の一番上の姉が、滅茶苦茶人権に熱心だったっていうのもあって参加してたっていうのもあるんですけど。でも中2ぐらいまでは全然発表とか、こういうところに参加しても発表とか全然できなくて。ちょくちょく先生から勧められたら言えるかなくらいだったんですけど、中3のときに何でか知らんけど、あの横に並んでる子たちみたいな実行委員長になって。ほのときになって初めて、マイクをたぶん長時間持つようになって。ほんまにたぶん一人で何分か離さんぐらいしゃべったっていうのが記憶にあります。



私が被差別部落で、こういう会に参加してきて、実際に差別にあったのが、中学校、高校卒業して19歳の時でした。それが、当時つき合ってた人がいたんですけど、その人のおばあちゃんとか親が、つき合うのはいいけど結婚はしたら駄目っていう人だった。何でほんなこと言うんかなっていうのが一番に頭によぎったっていうのと、つらかったというよりは、私の性格的に、「なんでなん」みたいな。「なんしにほんなこと言うん」みたいな。「ちょっと親と話させ」みたいな感じの性格なんで。そんな感じで。結局別れたんでアレだったんですけど。その後、恋愛差別っていうのを初めて経験して、やっぱりまだあるんやなって、ほんまに心の底から実感しました。

その後、さっき言った人権に熱心な姉も、その時つき合ってた彼のおじいちゃんがダメっていう人だった、ずっと10年ぐらいお付き合いしとったんですけど、結婚できんままだった。おじいちゃんが亡くなったんで、もう今のうちに結婚し、みたいな感じで結局結婚できたんですけど。なんせおじいちゃんおばあちゃん世代から言われることが多いんかなって。でもおじいちゃんおばあちゃん世代って話すことって、なかなかないよね。機会があれば、また私も突っ込んで話を聞いてみたいと思ってる場所なんですけど。

その恋愛差別以外にも、やっぱり友達関係とか、友達の親が結婚する相手は住んでるところとか調べて、そういう地域じゃないのか分かったうえで結婚しとる。自分の親も結婚しとるっていう話を聞いたときに、これ私が被差別部落っていうのを言うたらどないなるんだろなと思いつつ、言いました。躊躇したけど言いました。それまでの関係ができてたっていうのもあるし、物怖じしない性格っていうのもあるかもしれないんですけど。私、被差別部落やでって言って、ほんまにこんな感じで言って。どうなるかなと思ったけど、その友達は、運が良かったのか、あーそうなん、ぐらいで終わって。今もずっと仲良くしてもらってるんですけど。ほなけん19、20とかになって、部落差別っていうのを目の当たりにした歳でした。なので中学校のときに無茶苦茶力を入れて勉強してきたことが、19になって改めて、やっぱりあるんじやと。勉強しとってよかったなみたいな。後ろ盾を作ったって、今自分で思ってるんですけど。吉成みたいに。平野もおるし。自分がなんかあったときに、支えてくれるっていうか、絶対に味方になってくれる人がおるっていう心強さからの、この気の強さだと思えます。

そこで終わればよかったんですけど、次社会人になって仕事に就いたときに、結婚相談所の仕事してたんですね。そこで自分の担当のお客さんを、他の担当のお客さんと会わせるというか、マッチさせて、お見合いしてもらってみたいなんて結婚までつないでいくっていう仕事してて。そのなかで一番最初にその人に合うお見合いで、私の担当してたお客さんからこんなこと聞かれたんですけど、こんなって言われるものなんですかって言ったのが、まず最初会ってすぐに、そういう地域の方じゃないですかって聞かれました。ていうのを言われて、「あー、そうか、結婚やもんね、そういえば」と思って。お客さんにも絶対的な条件、結婚するにあたって絶対に外せない条件ていうのを聞いてて。私たちも。その絶対に外せない条件が、その人にとってはそこだって。でも駄目とも言えないんですよ。その人の結婚するにあたっての条件なので。反対派やけど、カウンセラー側からしたら言えないっていう滅茶苦茶もどかしさがあったので、そのお客さんの担当には滅茶苦茶言いました。「この人のこれが条件なん。ほんまにこれが条件なん。なんでこの人はこれが条件なん。何がいかんの。何が理由でこんな言うてきよん」みたいなのを、ほんまに大先輩の方なんですけど、滅茶苦茶キレながら言って。言ったんですけど、その人自体人権なんてどうでもいいや、みたいな人なんで、「その人がそうやって言うてるから仕方ない」で終わっちゃったんですけど。なんかこう、もどかしいというか、いかんて分かるとるけど、お客さんにダメって言うこともできんし。かといってその人の結婚を応援せんこともできんし、滅茶苦茶仕事をするに關したらつらかったっていうのはあります。結局辞めたんですけど。それもつらくなってきたし、滅茶苦茶ハードだったっていうのが一番の理由で

すけど、そういうのがしんどくなって辞めました。

なんで19のときの恋愛差別とか、そういう結婚差別がおかしいって気づけたかっていったら、最初のきっかけは、お菓子やらおにぎりやらジュースだったかもしれないけど、こういうところでちゃんと、いけないことはいけないって勉強してきたからおかしいって気づけたし、腹立つとも思えただろうし、自分のことやと思って考えれたというのがあると思います。そのときに、さっき言った先生たちも後ろ盾でおるから私が気強くおれたっていうのもあったんですけど、やっぱりここでできた友達、中1のときにここでできた友達が今も十何年のおつき合いなんですけど、ママ友として今もずっと仲良くしてて、その友達も被差別部落の子なんですけど、ここで初めて会って、そこから仲良くなって、今もずっと仲いい。何かあったら、しんどいこととかがあったら、何でも言える、相談できるっていう友達がおったっていうのも、一つの心強さだったのかなと思います。



私、5歳の子どもが一人と、お腹の中に子どもが一人いるんですけど、この自分たちが住んでるところが被差別部落だていうのを伝えようか伝えまいかっていうのを、割とずっと考えてきました。私も地元の人権学習とかがなかったら、自分が被差別部落の人間だて知らなかったと思うし、わ

ざわざ知らんところに教える必要があったのか、足を突っ込ませる必要があったのかってなったときに、別に言わなくてもいいんじゃないかなとも考えたし、でも何かあったときに、学生時代にはなくて社会人になって初めて経験したっていうところから、やっぱり言うとかべきなのではって思ったので、子どもにはしっかりと、自分のところがこういう地域だっていうことを伝えていきたいっていうのと、やっぱり何でも相談できる友達をどこでもいいけんつけてきてほしいなって。もちろん今、私が仲良くしてる子は、まったく地元の違う、ここから何十キロも離れたところの地区の子なんですけど。どこでもいいから、そういう子を一人つけてきてほしいなと思います。子どもに伝える理由として、見えてないものを見えないままにしてもらいたくないなっていうのがあるので。知っとったら見えるじゃないですか。何でもかんでも。ダメなことだったりとか、これが差別なんやなっていうのが分かっとったのが、分からんまま終わってほしくないなっていうのと、シンジさんが去年言うたのかどうか分からないのやけど、ずっと自分たちの先祖が差別を受けてきた。先人たちが差別を受けてきた。このことをないことにしたくないと思ったので、やっぱり子どもにはちゃんと伝えていきたいなと思いました。昔のままで終わらせてほしくないなと思ったので、伝えていこうと思いました。

友達の大事さって、親とか、お母さんお父さんとかから、友達大事にしなよとか、悪口言うたらアカンよっていう、そういう表面上の大事さっていうのは教えてもらうかもしれんけど、何で友達が必要なのかっていう深いところまで教えてくれるんが、やっぱりこういうところやと思うんね。私も昨日、平野と吉成と話しよったんですけど、親とか先生は、友達の大事さで学校と

か家とかで軽いところしか教えてくれないんですよね。私から先生に物申すのもアレなんですけど、ここに来てからこそ分かることって、たぶんあると思うので。友達が大事、何で友達が必要なのか、大人になったときにこういう人が一人でもおれば、メンタルが育っていくんじゃないかっていうのがあるので。まとまってる？30分ぐらい前に起きたばっかりなんで頭まわってないんやけど。寝起きなんですけど。



深いところまで、勉強とかだけ教えるんじゃないなくて、友達の本当の大事さっていうのを教えてほしいなと思います。教員でもない一般人が言うのもアレなんですけど、いち子どもを持つ親として思うことを言わせてもらってます。そういう友達の大事さが分かったら、大人になってメンタル壊す人もようけいるんで。そういうときに、深い友達がいたら、支えになるだろうし、そういうメンタルを育てるっていう部分で、先生とかにも普段教室とかでも教えていってあげてほしいなと思います。みんなはここに参加できたことを、本当に誇りに思ってください。毎年言ってます。みんなに。いいですか、全然話まとまってないけど。

**吉成** そんなふうには、お姉ちゃんに言われ続けて来たんな。

**はなちゃん** あー、そうですね。姉から受け継いだ言葉です。誇りに思えてというのが。

**吉成** これは去年シンジくんも言ってたんやけど、いざというときに相談できる、一言話ができる、そういう友達がいるのかどうかっていう。そういう話よな。それは今いるかどうかっていえば、そりゃいないかもしれないけど、そういう友達、仲間をつかってほしいっていう、そういう話よな。

**はなちゃん** そういう話。

**吉成** います？いる？相談できる？大丈夫？大事にね。もしかしたら、今はなちゃんが話してくれた中に出てきた、部落の人っていうところで話したときに、もしかすると今ここにいる中学生のみんなは、まったく関わりがないっていう子もいるのかもしれないっていう気がする。まったく関わりがないって思ってるかもしれないんだけど、それがいつどこで関わりができるかもわからない、とも言えるわけ。その関わりができたときに、じゃあみんながどう反応するのか、対応するのかっていう、そこにかかってくるような気がするのよ。スルーするわけにはいかん、だろ？スルーはせんやろ、いくら何でも。スルーはせんけど、じゃあどう反応するっていう。そこは難しいかな、もしかすると。難しい？それはいけないことだ、みたいな。やたらいきり立って、それはいけないことだって言い始めるのも、ちょっと待って、みたいな感じになるかもしれないし。どう反応するかっていうのは、相手の子が何を求めているのかっていうところに関わってくるのかもしれないけど。

今の話聞いてどうですか？話続けれますか？(私は私の道を行くので)私は私の道を行くのね。はい、では次チェリーさんから。何ゆえチェリーなのか。昨日聞いてる人は

分かるけどな。昨日おらんかった人もたくさんいるので。どこの国の方ですか？



**チェリー** 皆さん気になってると思うんですけど、私は純日本人です。別にそんな面白い話ができるとかではないんですけど、自分の経験が、皆さんがこれから進んでいく未来に、ああいう人もあったなっていう記憶の中にちょっと残ればいいかなっていうところで、今日お話をさせていただきます。

チェリーっていうあだ名の由来なんやけど、私は小学校6年生まで阿波市吉野町柿原っていうところで生活をしておりました。両親の離婚とともに徳島市内の応神町というところに転校をしてきて、それが中学校1年生の学年が上がる年、ちょうど春から転校した形になります。阿波市吉野町の方では、小学校3年生からずっとバレーをしてまして、すごく弱小チームなところなんやけど、楽しくバレーができるっていうのが特徴のところでした。そこの名前が、吉野チェリーズっていう名前だったんやけど、中学校変わって、まあバレーしよったからバレーしたいな、友達できるかな、みたいな感じに入ろうと思ってたら、どうやら私が転校してくる情報を聞きつけてた応神町の子たちがいました。応神の子は小学校の全国大会に出るようなチームの強さで、こんな弱小のチームとは闘ったことがないので、何やチェリーズとはっていうところがあつたんですね。絶対なめとるやつ来るだ

ろうみたいな。仲良くしたいと思ってくれる部分もきっとあったと、今なら分かります。けど、陰で呼んでやろう、あいつチェリーって呼んでやろう、っていうのがきっかけだったっていうのは、後から仲良くなった友達から聞きました。じゃあチェリーが嫌だったのかと言えば、別にそれは嫌ではなかったし、今となれば応神の仲間全員私のことをチェリーと呼ぶから、何の違和感もないというか。年賀状に、私旧姓丸岡って言うんですけど、丸岡チェリー様って間違えて書いてしまうぐらい浸透してしまうぐらいなんですけど。間違えたんやでって言うてくれるぐらい仲良くなってくれた友達もいたんですけどね。



何から話そうかなっていうところで、小学校のときどんな生活だったんかっていうと、私の学校というか、阿波市吉野町では、学習会っていうのが存在しました。地区の子、同和地区ですね。その所に住んでいる子たちが学習会に学校の終わりに通うと。人権学習も全体的によくしている学校かなという印象があります。その中で私は、学習会に該当する地域ではありませんでした。学習会って何だろう、みんな楽しそうにドッジボールするとか宿題するとか言ってるけどっていう感覚だったのが、私兄が2人いて、3人きょうだいなんですけど。兄が高校通っているときに、人権作文を書いたんですね。それが高校の先生の目にとまり、

どうやらきょうだいがおるらしいぞというところにも目にとまり、その内容が、ボクの母は同和地区出身ですという話だって。その母は、阿波市吉野町で住んでいる間、私は同和地区出身だから子どもを学習会に通わせてほしいという話を先生にしてたことがあったらしいんです。それは後から聞いた話だったんですけど。入らせてほしいって言ったときに先生に、あなたの住んでいる地域はその該当地域ではないので行かせられませんと言われたんだそうです。なので私は、楽しそうなところやなっていう印象だったけど、そこには行かない子だって、母はそのときに先生に対して、あんたらみたいなんが先生やから部落差別がなくならんのやという思いを持ってたんですね。そこで兄の書いた作文が目にとまり、いろんなところを伝って母のところへ先生が来て、「そんな人だったんですね、通ってほしいです」となるわけです。母は同和地区出身だったんですけど、部落解放同盟っていうのを聞いたことのある方もいらっしゃるかもしれませんが、その会長をしてたんですよ。高校生の時に。いわば先駆者というか、そういう存在だったんです。そんな人だったら言ってくださいよっていう話を手のひら返したように言ってきた時に母は「絶対行かせへん」と。ていう感じの小学校生活でした。それで小学校の時には学習会には行かなかったんですが、中学校に行った時の私が住んだ地域っていうのは、該当地域に値するとことで、学習会もあって、そこに通わすっていうことは母も認めたくなくて私も中学校時代そこでいろいろ学ばせてもらって、皆さんみたいに中学生集会とか、高校生になったら高校生集会とかに参加するようになりました。

タダシは正直担任を持ってもらってなくて、ただめっちゃ熱量高い先生で。人権のことになったら絶対前におるし、巻き込ん

でいくウエーブを起こす先生だって、ちょっと他の先生とは変わってるんかなぐらいの印象のあった先生でした。

中学校でそういった勉強をして、私が高校進学のときに、勉強があんまりできなかつたんですね。ていうのも、母が離婚をして片親で育ててくれてるなか、私は家で家事をするっていうところを担わないかんし。もちろん努力不足っていうところもあったんですけど、父と離れた寂しさ、そういったところも抱えて、メンタル的にもあんまりいい状況ではなくて。学校もバレーボールをするからっていう理由でどうにか行ってたんですが、中学校2年生ぐらいから不登校気味に。ギリギリ行くんですけど、行った次の日は休んでしまうっていうような形で。それでも支えてくれるような仲間はやっぱりいて。そういうメンタルのなか学習会に通って進学どうしようってなったら、先生方が、あなた人権の勉強してるんだったら高校の進学推薦枠で行ったらどう？っていうので高校を決めました。高校に入って、人権問題研究部とかがって格好いい名前ついとんですけれど、いざ入ってみたら2人しかおらんのですよ。高校の中でね。一学年180人×3学年の中で2人。まあヤバい奴のクラブやなみたいな。そこでどうしようかってなったときに、みんなみたいに学びに行けるルートみたいなのを先生が確保してくれて。だから高校生の集会に参加して、会長しますか、どうしますか、みたいに、こういう会るときにみんなでワチャワチャ決めて楽しいなっていうのはあったんですけど、先ほども話したように私は片親で育てられてたので、アルバイトをしなくちゃいけなかつたんですね。それで母親の稼ぎだけでは生きていけず、兄も勤労学生でいてたところもあったので、16歳になったときから私はアルバイトを始めました。スーパーで週5。夕方平日は5時から

夜10時まで。土日の場合は朝10時から夜10時まで。まあ今では労働基準法違反ですけどね。労働基準法っていう、働く時間のルールがあるんですよ。そうやって違反してる状態で働く。でもそうでもしないと食べていけなかつたんです。ご飯が。母には借金がありっていう形で。人権学習からどんどん離れていってしまっ。社会の方に飲まれていくことが多くなって。私がそういう生活をしなくちゃいけなかつたのは、親の責任なのかって言われたら、今親になってるんでわかる部分もあるんですけど、親ガチャ失敗したん違うかなっていうところ



アルバイトをしてる生活の中で私は、もうこんな生活嫌やなっていうのがすごいあったんです。何で私ばかりこんなに働かなアカンの、好きなこともできんで、っていうところがあったんやけど、そこに一つ光を見出そうと思ったのが結婚だったんですね。私は私の家庭をもって、この生活から脱却したいっていうのが大きくあって。そのときに、17歳の時に大学生の方とおつき合いを始めてた時期があって。その方と5年間おつき合いをしたんですね。社会人にもなって成人もして、結婚をしようかっていう話になったときに、私は徳島県、相手は香川県がご実家の方でした。私は彼氏には、私が住んでいる地域ってこういう地域やでっていう話はしてたんで、彼氏はも

ちろん理解があったんですけど、彼氏はどうも私の存在を親に紹介できないんですね。いつ言うの？まだ？言ってくれた？って、詰めまくったんですよ。すると、しゅしゅ言ったらしいんです、親に。親御さんは公務員の方で、しっかりと働かれて、稼ぎもあってっていうところだったんですけど、そこで出てきたのが、私の身元を調べるということでした。県外の方なんでちょっと分からんていう部分もあったみたいで。調べたときに、応神町の隣町に北島町という町があるんですけど、その北島町に親御さんのお友達がいたみたいで、その人に訊いたら、応神町は全部部落だろう、ヤバいところだろうっていう。そんな人とは結婚させられん、うちの子は、と言われ。私は皆さんみたいにずっと学習をしてきてたので、それこそさっきのはなちゃんと一緒。話させてくれよ。私が言ったら絶対説得できるんやけどっていうことを彼氏に詰めました。けど、彼氏は彼氏が思う親の姿というのがある、なかなか対面することは難しい状



況だったんですね。私は彼氏をずっと詰めまくるスタンスが続き、彼氏もちょっと親に話をしようかなと思ったタイミングでちょっとずつ出してたんですけど、最終的に親御さんが胃がいれんで倒れたんですよ。ストレスで。私の話をするっていうことで。そうやってきたら、私はその話を聞かされたときに、私の存在は誰かを苦しめる存在

だったのか、それとも私はその話を知らなかった方がよかったのか。いろいろ悩みました。自分が被差別部落っていうことを知らなければ、伝えなければいけないじゃなかったのかなとか。ましてや5年もお付き合いをしてるんでね、結婚は目前だと思ってたところだったんですけど。まあそんなこんなで、誰も傷つけないってというのは、被差別部落であろうが、部落外の人であろうと一緒にやと思うんですね、皆さん。なので私は、その人との結婚を諦めました。今でも仲良くはさせてもらってますし、あのおときこんなだったよねって話はどうもせんのですけど、さすがに。けど、二人のちょっとした傷としてはある形です。

じゃあこれから一人でも生活していけるかなって思ったときに、私は学業もあんまりできんかったし、何して生きていこうかな、仕事こんなしょうかな、あんなことしょうかなとか、いろいろ考えながら、定職に就けないというか、なかなかしつかりした仕事に入れないって時期がありました。そんななかで出会った方がいて、お付き合いして。私もバイトをしながら、その人との関係を深めていったときに、賛否両論あると思うんですが、先に子どもができてしまったんですね。子どもができましたって話をしたときに、その方とは1年ぐらいお付き合いがあったんですけど、ボクは結婚できませんって言われたんですね。それは部落出身だからとかいうこともあったんだろうっていうことを、今になれば思うんですけど。私が定職に就けていないという状態であることと、親が片親であったことに対して言われました。親が片親なのは私がどうしようもできんことであって。私が学業が身につけてないのは私が努力すればよかったことって言えるんやけど、親の片親はどうしたらいいかなってことはすごく感じたんですね。それはそれで仕



方がないから。変えられないから過去はね。なので、あなたは片親を批判するけど、今お腹にできた子を片親にするのはいいのかということを含めたんですね。でも返ってくるのは、杓子定規というか、出来上がった言葉というか、「いやもうそんなつもりじゃなかったんだけど」とか、上手く言って逃げるような人でしたね。そんななかで私は、結婚せず子どもを産むという選択をとって。今、だいぶ時代的に増えてきた方もいらっしゃるのかな。シングルマザーってというか、未婚の母って言われるやつですね。そういうのを経験しました。未婚の母になったときは、どうしよう、生きていけるのかな、どうなんかな、ほんまにこの子大きくできるかなとか、いろいろ考えてたんですけど。今は福祉がいろいろあって。そういった人に助けられるっていうことがいっぱいあって。それでどうにかこうにか生きてこれたん違うかなと思ってます。



子どもが大きくなっていくなかで、今小学校4年生になるんですけど、その子。そろそろ私も人権のこととかを子どもに伝えたいなっていうところがあって。その子は女の子なので、私と同じような人生を歩まないだろうかっていうところを考えると、でね、フェイスブックを見てたら、タダシがチラチラチラ出てくるんですよ。活動こんなのをしてます、みたいなのが。気になるなって。気になりな

がら数年見てるだけだったんですけど、そんなことしてる間に私も未婚の母を脱却というか、結婚をすることができて。相手にもすべてを理解してもらったうえで結婚ができるようになったんですけど。その相手の方にしたら、私の長女、一番最初の娘ですね。とは血がつながってないんですね。どうやって教えよう、子どもに。血がつながってないのは言えても、お父さんはお父さんであって、お父さんでない。どう言えばいい、みたいな感じだったんですね。それでも娘と生活していくなかで、そういったところはある程度理解していったりとか。私のお父さんはこのお父さんやけど、本当のお父さんがおるんやでっていうことは分かってくれるってなっていたんですね。でも人権のことって、本当に何て伝えたらいいんだろう。学校で道徳とかある？とか訊くと、あるよって。どんなことしてる？って訊いたら、心が傷つく言葉はやめましょうって、この前言った。まあ大事なことよね。大事なことやけど、学べてる？本当になって、ちょっと不安。親としては。こういう学習って、どんどん蓋をされているんだらうなっていうのを、社会に出て私たちは目の当たりにしてるから、子どもは本当に学べてそれを理解できているのだろうか、それを大人になって言われたときにメンタルがもつんだらうかっていうことを考えるようになりました。でまあチラチラ出たタダシに、子どものことで人権で悩んでるんで、お話聞いてもらっていいですかって、タダシに敬語なんて使ったことなかったんですけど、大人になったので敬語で連絡しました。そんな感じで、みんなみたいに活動してたんやけど、社会で生きていくなかで活動がどんどん薄れていってしまっって、こういう問題が起こったときに私のそばにいたのは、さっきはなちゃんも言っていたんですけど、一人の友達がいる。そ

の友達も部落外の出身というか、部落外の人でした。とても理解もあるし、全然仲良くしてくれるし。私本当にその子くらいしか何もかも言えるっていう子がなくて。その子結婚したんですよ、最近。結婚するとね、お家同士の結婚っていうのが、これから皆さんも経験していくと思うんですけど、あるんですね。となったら、自由な時間がどうしても減るんです。家族のために費やす時間というのが増えたら、忙しいだろうなと思って。本当に言えることが少なくなったんですね。誕生日ぐらいしかやり取りをしないっていう、希薄な関係になってしまっ。好きやし、全然会って話もできるんやけど、タイミングというか、きっかけを掴めなくなってしまっ。困ったな、どうしようかなっていうことを旦那さんに話をして。旦那さんも、夫婦の共有はできても、外部の人とのつながりが無いのはちょっとしんどいなっていうので、今回話して、ここで話をさせていただくっていうことになったんです。

皆さんどうなんだろう。最近の若い子って、結婚に対してちょっと不安な気持ちっていうのか、少子化っていう大きな問題があるんやけど、あんまり結婚に未来がないというか、希望がないというか。ていうのを持ってないのかなっていうことを私は思っ。私は、旦那さんに先のお奥さんいらっして、3人子どもがいてたんですね。私との間に2人産まれたんで、3人3人で、今子ども6人いてるんですよ。6人子どもいてるんですけど、先の3人は前のお母さんと一緒に住まわれてるんで、遊びには全然来てくれます。でも血がつながってないので、なかなか細かいところまで、普段の状況とか聞いてあげれてないんですけど。その18歳の、今年19歳になる娘が一番上になるんですけど。結婚やせえへん、私恋愛やしたくない、ほなって嫌やし、怖いし、

面倒くさいしって言ってます。19歳やで。ピチピチやで。なんぼでも楽しいことあるやん。何しよっても楽しいやん。て思うん、大人はな。その年を過ぎた人間はな。みんなこれから行くからまだちょっと分りにくいかもしれんけど。父親はこうやって言うわけですよ。自分が離婚をしてしまったから、そういう未来が見えなくなったんだらうかとか思ってるんね。けどそうじゃな



くて、たぶんその子はその子で考えてる部分がいろいろあるんやと思う。お父さんがおらなくなったっていうきっかけは何かあったかもしれんけど、その後の生活環境だったり、周りの友達だったりっていうのを見て、私はこうありたいなっていうところが、結婚したくないな、面倒くさいなっていうところを持ってるのがかなって。私からすればね、皆さんぐらいのときには結婚に憧れがありまくったし。早く家庭をもって自分も子育てしてこんな旦那さん見つけてって思ってたんやけど、今の若い子大丈夫かなっていうのを、すごく思っ。私とかは結婚問題にぶち当たりました。部落差別に当たりました。ていうところに対して、結婚に対してちょっとなっと思うところがあるんですけど。娘はね、旦那さん側の子どもさんは、そういうところじゃないはずって聞いてたんですけど、これ実はそういうところの人だったらしいんです。旦那さんの元奥さんはそういう教えをして

ないんです、子どもに。簡単に言えば隠してるってやつです。だから子どもも知らないんです。自分が被差別部落出身であることを。それが18, 19になって、結婚を考えたときになって、もしかしたら調べられて、自分が学んでなかったことで差別を受けるんじゃないかろうかと。私はそこを心配しています。建て前で言われますよ。あなた被差別部落の人だからって言わないんですよ。大人はずるいから。ちょっとうちとは格が合わないっていうか、ちょっとお似合いじゃないん違うかなとか言うんです。なので皆さんは、今素直な言葉を出せる年齢やと思ってます。私から見ても。だからその言葉で意見交換をしてもらえたら、今後生きていく人生の中で役立つタイミング絶対あると思うんです。けど大人になってからしようとする、みんなうまいこと言って、自分の本心を出さないんです。ここに来てくれる先生方は、皆さんの言葉を聞こうとしてくれたり、皆さんの意見を尊重しようとしてくれる人やと私は思っています。けど、一歩社会に出て、それとも先生方がちょっと立場が変わってしまったら、これまた違ってくるんかなっていう不安もあるので、皆さんが今、この場所でしっかり話せるような自信、何言ってもいいんです。間違ってもいい。間違ってるかどうか分からんけど。考え方が変わってもいいんです、途中で。でもしっかり自分が今感じてることを言う。そういった勇気というか、経験を培ってほしいなと思います。以上です。

**吉成** シャべるねえ。結構シャべるねえ。何か、イメージ良くないかもしれんけど、若者を見るおばちゃんの域に入ってきてない？若いよ、まだ。(笑)

**チェリー** 何でそうなったかっていうと、私

仕事いろいろして。郵便局とかに11年、最初勤めたんですけど、嫌になって。会社員が。それで会社自分で作ったんです。(すごいすごい)もって言って。(笑)でも作って言ってても、若い小っちゃい会社で。もっと大きくしたいって思ってるけど、人を見る目っていうのがちょっと変わってきたっていうのは大きかったかな。



**吉成** さっきはなちゃんが結婚相談所っていう話で、まだみんなはアレかもしれんけど、いわゆる最近のマッチングアプリっていうやつ。あんまり聞いたことないかな、中学生はな。けど大人の世界ではどうやら流行ってるのよ、マッチングアプリっていうやつが。それで私の知り合いもそれで結婚したっていう人もおったりして、大丈夫かって思うんやけど。だけど、大丈夫なんだろうな。大丈夫じゃないこともあるのかもしれないんだけど。けど、相手と出会って、さっきのはなちゃんの話で言うと、条件のところはどうであるのかっていうところとか。人それぞれなのかもしれないんだけど、人を貶めるような条件っていうのはいかなものかっていう気がするし。今回こうやって話をしてもらったけど、常に人権を発信する人、常に自分が人権について発信する人になれば、なっていれば、なっていけば、あっちからくると思うのよ。相談に。あちら側からやってくると思うのよ。そのときに、もしかするとその19歳の子の助け

になるかもしれない。チェリーが。そういう人を増やしていけるといいんじゃないのって感じがする。今のこの子たちにしても。相談を受ける側。相談もしていいんだけど、みんな自身が相談を受ける側みたいになっていくと、もっともっと世の中を変えていけるって感じがします。

結構時間が来てるんですよ。12時まであと25分くらいなんですよね。このまま私がしゃべり続けてもいいんですけど、あんまりそれはメリットないので、感想とかを言ってもらおうかなと思います。いったん前での話は終えて、司会者にマイクを返したいと思います。お願いします。

**司会者 (be)** どうもありがとうございました。それでは残りの時間、感想や質問、意見交換を行っていきたいと思います。マイク係として八万中学校2年 bl さん、松茂中学校2年 cg さんの2人がフロアを回ります。記録の関係上、発表者は団体名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願いします。



**板野中学校3年 (ak)** さっき結婚について意見があったと思うんですけど、最近ボクも結婚について考えるときがあったんですよ。ユーチューブで結婚についての動画が流れてきたことがあって。確かに考えたことなかったなと思いつつながら考えてみたんですけど。部落のこととか分からないのでそこら

へんは視野に入れられないんですけど。昔ってね、昭和とか平成だったら、イメージがあったじゃないですか。母は家庭で料理とか家事とかしてて、お父さんは仕事に行っただけで帰ってくるみたいなの。そういうイメージがあったと思うんですけど。その通りで、昔って、目で見て分かるメリットがあったんですよ。母は仕事から逃れられて、父は家事から逃れられるって言う。目に見えるメリットがあったから結婚してたんじゃないかなみたいな。それとか女の人には自由な時間ができるし、男の人は仕事に専念できて、面倒くさいということから逃れられたりできるんですけど、今の時代、女の人が働いてるのは当たり前じゃないですか。ジェンダーレス化みたいな感じで、女の人もうちょっと働けるように頑張らましようみたいな感じで。今って、2人で家庭を築く人がすごい多いんですよ。ていうことは仕事もせないかんし、家事もせないかんし、もし子どもができたときに全部両立せなアカンくて。お父さんやってそれ手伝わなアカンし。手伝わなアカンていう言い方が悪いんですけど。そういったことがあって、すごい同時にいろんなことをせなアカンくなるんですよ。そういったときに、自分でこれ結婚するメリットあるかなみたいな。結婚考えたときに。夫の面倒を見るって言う言い方(笑)悪いんですけど、夫と一緒に生活せなアカンし。料理とかやらなアカンしみたいな。ペット今飼ってるんですけど、犬なんですけどね。犬の声聞くだけで、最近よく鳴くようになって、夜中も鳴き始めるんですよ。それとか聞いてたら、もう頭狂いそうになって。そんなに赤ちゃんとか育てられるかなみたいな不安がいっぱいあって。すごい不安になるんですよ。そこで質問なんですけど、チェリーさんて、結婚にメリットってどこにあると思いますか。(笑)

**チェリー** 結婚のメリットなあ。私は運よく  
というか、おかげさまで、自分がすべて生  
きてきた経験とか、部落だったとか、こん  
か経験があつてつらかったということ、  
今旦那さんには言えます。なので、その  
つらかった部分を言えるのは大きいのかな  
っていう部分はあつて。社会とかで友達を  
見てたら、旦那さんのことに対してはもう  
諦めてますとかね。そういうお母さんとか  
結構いらっしやつて。そこがメリット。

**板野中学校3年(ak)** なるほど、ありがとう  
ございました。

**板野中学校3年(am)** 黙ってなくて申し訳な  
いんですけど。話も聞けるし申し訳ないん  
ですけど。ボクは小さいころから恋愛もの  
とかのドラマとか小説とかを読んできて、  
彼女とか結婚に興味がある、普遍的な中学  
3年生なんです。それでボク、結構できる  
とは言わないんですけど、母さんの料理と  
か手伝ったりとかするのが好きで。あると  
きに、もし結婚とかしたら料理つくりたい  
とか言ったら、ボクのじいちゃんが、  
もう料理なんて嫁さんに作ってもらえばい  
いやろって言よつて。でも作つても悪いこ  
とないやんて返したんですけど。それでも  
また、そういう慣習というか、そういう流  
れがみたいな話になつて。何かそれはボク  
は納得できんというか。別に料理作りたい  
んやから作つたらいいし。もしかしたら結  
婚する人が料理できん人かもしれんので、  
したいなと思うんですけど。できれば。チ  
ェリーさんは夫婦の中で役割分担というか、  
そういうものはあつていいものというか、  
いいものであるのか、むしろない方が円滑  
に進むのか。あるかないかで言えば、ど  
ちの方がうまくいくというか、どっちがい

いんですかね。



**チェリー** 渋いとこつてくるなという印象  
なんやけど。私の場合はですね、私の主人  
が一応経営者で。経営者つてね、いろいろ  
面倒くさく忙しく過ごすところであるん  
ですけど。そんななかで子どもを育ててる部  
分もあつたりして。じゃあ役割分担で、ご  
飯誰が作る？掃除誰がする？洗濯誰がす  
る？つていうのがあるんですけど。一応、  
うちの家はですよ。一応女性がするとい  
うのが主軸になっています。ていうのは、  
できないです。やっぱり男の人は。得意な人  
もたまにいるんですけど。やっぱりそう  
いう環境に育つてしまうのもあつたりと  
か、得意不得意、どうしてもあると思  
います。私も会社経営してますけど、  
経営してるなかでも、経営が上手い人、  
下手な人がいるのと一緒で、主人は  
私の会社規模より大きい規模でしま  
すし、そういったところでも、家事  
で考えたら私の方がまだ得意な方  
かなつていうところなんです。ただ、  
限界があります。何もかもするつて  
いうのは。なのでそういうときは、  
素直に、今日はご飯ませんて言  
うし、今日は洗濯回してませんて言  
うし。何なら洗濯物干すの嫌いなので、  
私。ドラム式の乾燥機能付いてるの  
買ってつて言いました。そしたら、  
ボタン押すぐらいならできるやん。  
旦那でも。ていうところで、  
役割があつた方がいいか、なかつた  
方がいいかつていうこと具体性ちよ  
っと難

しいところもあるんやけど、それってやっぱり思いやり一つで解決するかなっていうところですよ。さっき言ったように、やりたい人、できる人がやればいいじゃんっていう考えは大事にしてほしいなと思います。

**吉成** できないのと、できるけどしないのとは、これは決定的な違いがある。できるのにしないのは、これはできるからまだいいけど、できないのは致命的。これは、男もできるようになってた方がいいと思う。本当に。男が担うとか、女が担うとかっていうのじゃなくて、男も女も関係なく、いろんなことができるようになってた方が、まあまあ安心できるかな、っていう気がするな。さっき言った好き嫌いの話もあるし。去年この会で中学生がこんなこと言ってたと思うのよ。バレンタインの日にチョコレートを友達と作って、あれボクやな(フロア最前列の生徒に話しかける)。言ったよな。一緒に作ったけど、それをとやかく言うやつがおって、その友達がとやかく言われてめちゃ腹立ったみたいなの。よう覚えてるやろ。あれはほんまにその通りやと思うわ。間違いないと思う。そんなのがあったんですよ去年。彼です。彼は何か発表しませんか？ではマイクを。

**三豊中学校 3年(cr)** 今急にふられたので、そんなに考えがまとまってないんですけど。今、結婚とかで男女の役割とかって話があったので、そういう話をしようかと思うんですけど。ボクはよく女の子みたいって言われることがたまにあって。でもボク自身それを言われることは全然嫌じゃないんです。逆に女の子みたいとかいうのはいいイメージしかなくて。家事ができるとか、そういう細かいことができるとか、そんなイメージがあるので、全然嫌じゃなくて、むしろちょっと嬉しかったりするんですけど。

そういう考え自体が今は良くなってきているのかなとか。やっぱり男女が、両方がそういう男女の違いみたいなのが無くなってきているから、それこそ家事とかでも男女が役割を分けたりとか、女が家事だとか、そういういろんな面での男女の違いがこれからはなくなっていくべきなのかなと思います。ボクも女子みたいって言われて嬉しいっていうのもあるけど、そういう考え自体もこれからはなくなっていくべきなのかなみたいな。そんなことを思いました。



**一般(fh)** 貴重なお時間いただいてすみません。徳島県川内町で名産の鳴門金時を20年ぐらい栽培しています、板野中学校のOBのfhと言います。42歳になります。まず最初に、台風が近づいてきとって、農業者としていろいろせないかん畑の課題があったんですが、今日吉成先生からこういう会があるということで気になって気になって仕方なくて、今日も4時から9時ぐらいまで畑の中で汗だくで仕事をしよったんですが、来させてもらって本当によかったなと思いました。まず若者が各学校の紹介をしている姿を見せてもらって、ほんまにいいな、こうやって自己表現できる、そういう空間、そういう組織があることってありがたいなと思って。畑におらんとこうやって勉強させてもらえてよかったなって思ってお礼を言いたかったのと、川内町の住人として、私にも中2と小6の娘がいるんです

けど、帰ってこのポスター見せたいなって思いました。このポスターあとで写真撮らせてください。

結婚のメリット。私は昨日ちょうど畑に



朝いつも3時50分ぐらいに起きるんやけど、夜は仕事終われるんがもう日が変わるぐらいの10時11時まで、ずっと働き詰めなんです。昨日ちょうど芋の収穫が始まるとんやけど、収穫行こうと思ったら雨が降ったんで、私は従業員さんも7時ぐらいまで2~3年間通じて来てくれる農業経営者なんやけど、ごめん掃除するって言って、昼まで掃除してました。誰がするとか関係ない。気づいた者が気づいたことを一生懸命する。結婚にメリットデメリットあるかも分からんけど、やっぱり結婚することで、自分の可能性が広がるんでないかなって、ボクは話聞かせてもらってて思いました。差別する側される側、いじめする側いじめを受ける側、いろんなこと学校生活であると思うんよ。あると思うんやけど、ボクが思うのはやっぱり差別したりいじめしてしまう意識があって、それをしてしまうことで、差別を認めたりしてしまうことが、自分の可能性を潰してしまうことにつながると思って、こうやって畑でおるんやけど、ボクも勉強したいと思って今日も来させてもらってます。

人生はな、自分を知る旅。農業のおっちゃんなんやけど、自分の可能性を追求する

旅でないかなって思って、ボクは毎日畑に挑み続けています。畑の農作物、野菜と向き合って生活しています。世の中楽しみな損じゃと思ってます。こうやって姓を受けて生まれさせてもらって、虫も人間も何もかもおっちゃんも、おばちゃんも何も関係ない。一人一人が自分の可能性を追求して、自分のできることを、自分のやりたいと思う目標が持てる世の中とか社会とか地域、学校になったら、絶対世の中少なくとも今よりかは良くなると信じています。自分の娘にもそういうことが言いたいです。部落差別について勉強することもごっつい大切なことなんやけど、大切だからこそ、まず自分を輝かす。自分の環境、みんなそれぞれ違うで。自分のおる場所で、自分がほんまに何がしたいか、何ができるか、将来のことやなかなか自分が中2のときそんなに考えてなかった。けど、今42歳になって思うんやけど、みんなが今おる環境っていうんは、可能性は無敵大です。自分の志次第で。ほれが追求できる世の中になってほしいし、ほれが追求できる T-over 人権教育研究所であってほしいと願いますし、この会のポスター、家に作業場があるんですけど、作業場に貼ります。ほんで、私の夢は、娘にも興味があるんだったら来てほしいし、いろんな学校の方、もうなんだったら政治も絡んでもいいかもしれん。マスコミとかも。こんな若者が輝いとる場があるけん、徳島を豊かにしていこうみたいなのがあってもありかもしれんていう思いで来ました。長いこと貴重な時間をもらって、これぐらいにしようと思えますけど。なんせ、輝いて生きていきたい。自分の可能性を追求できる一人一人であってほしい。そしたらもう人のことを気にすることやなくなると思う。もう自分じゃ。とりあえず自分が、今日はよかったな、しんどかったなって、自分を追求すること。想像力。また畑に遊び

に来てください。失礼しました。

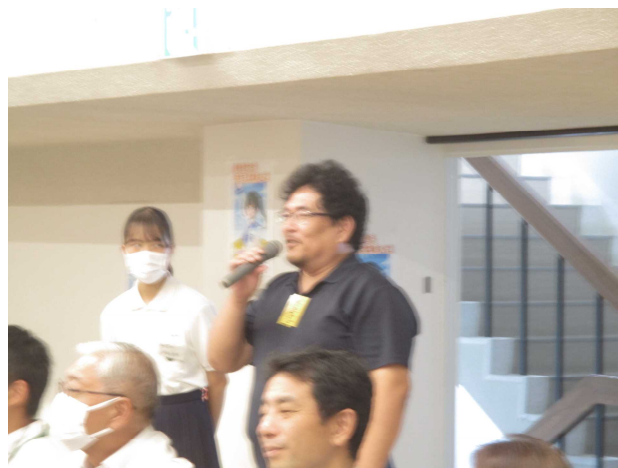
**松茂中学校 2年 (bx)** ボクは結婚に対してちょっと否定的な考えで。結婚するってなったら自分の自由な時間が奪われるし、だったらせん方がいいなって思って。でも結構考え方が馬鹿なので、今までご先祖様がずっとつないできた bx っていう名字を、ここで途絶えさせるのかって考えたら、それも嫌やし。やっぱり結婚してこの絆をつないだときに、自分が結婚して子どもを産んでっていうのいいのかなって思ったりして。そんなことで今まで悩んできたんですけど。結局ボクは結婚したいかっていうよりかはしたくないっていう方で。しかもボクには推しがいて、別に結婚なんてしたくないわって思ってる方なんで。すごく結婚したい人を敵に回した気がするんですけど。この話を聞いて、メリットとかそういうのが分かって。ちょっと結婚について考えることができたなって思いました。



**吉成** この仕事しててな、結構中学生に2次元にのめり込んでる子とかおったりするで。2次元の世界にな。2次元とかゲームの世界にとかって。のめり込んでる子ら、この子らいけるのかな、将来恋愛対象はリアルな世界にできるんだろうかって思うことってよくあるのよ。まあ別にどういう対象であっても構わんのよ。構わんのやけど、リアルな世界で恋愛とか結婚とか考えるんか

な、どうなんかなって思うんやけど。この中学生集会に連れて来よる子らに、アニメが好き、2次元が好きゲームにのめり込んでるっていう子をな、ここに連れて来てたらな、なぜかリアルな世界に変わるのよ。そういう子は何人もいた。不思議やけど。ここの会に来てあーだ、こーだってリアルな世界でやり取りをしながら面と向かっていろんな人のつき合いをしていってるうちにね、つまり人権学習をしてるうちに、戻ってくるっていう言い方おかしいかもしれんけど、2次元の世界からこちらの世界に来るのよ。ゲームやってた子がこちらの世界に来るのよ。まあそのままにいるのかもしれないけど、そういう感覚はどこかにあるかな。だから bx くん、自分の可能性に蓋をするのはやめましようね。(笑)

**藍住東中学校教員 dn** すみません、先に発言します。まず1つ。結婚にメリットとデメリットを求めてはいけません。結婚はデメリット考えたらデメリットもある。メリット考えたらメリットもある。ただ1つ言えるのは、横におる人、男性女性構わずに、この人とずっと一緒におったらおもしろいなって思える瞬間があれば、それは結婚につながっていく。つながりはほとんど勢いです。(笑) 勢いなので、メリット、デメリット考えたらだめです。ここにおる人と一緒におったら楽しいかな、楽しくないか





な、それが結婚につながるかつながらないかのほとんど流れや勢いなので、そこはメリット考えたら駄目です。ていうのが既婚者の意見です。

**板野中学校 3年 (ao)** 私は逆に一人で生きられるタイプじゃないから、結婚したいなって思って。みんなが言うジェンダーレス、そういうのも大事なんだけど、どうしても女らしさ男らしさっていう型に魅力を感じてしまうタイプなんです。どうしても自分の性らしく、女らしくありたいなって思ってしまいうんですけど、正直それを捨てずに、今の価値観とどうやって、混ぜ込んで生きていけばいいかわからないんですけど、チェリーさんやはなさんや吉成さんは、そういう今の価値観と、私の自分の感じる美学に、美学というか性癖？に立てついてしまうときに、どうやって対処すればいいのかわかりますか。



**チェリー** 価値観っていうところに私はコンタクトしようと思うんやけど。価値観て、経験の中でいろいろ変わってくる部分であってもいいんかなって思います。なので、自分はこうありたいっていう部分は、もしかすると3年後には変わってるかもしれない。なので、こうであらなくちゃいけない、これはダメやと思うんやけど、こうありたいと思うところに、こうなろうと思うその心は、寄り添うというか、その流れでいいん

じゃないかなと。癖というか、そういうところなんかなって言ってたけど、それはそれで自分を形成しているものであれば、自信をもって生活していってくれたらいいんじゃないかなと思います。

**はなちゃん** 私も価値観のところなんですけど、私ほんまに女性らしさがまったくなくて。たぶん女性らしさを求められたら一生結婚できんタイプなんですけど、ただそういうのを受け入れてくれる人っていうのは絶対いると思うし、さっきも言ったように、経験していることで考えが変わってくることとか、もうほんまにいろんなたぶんこれから先ずっと、いろんな人と出会って、いろんな考え方の人と出会って行って、変わっていくこと、認めてくれることっていうのはあると思うから、今そこで滅茶苦茶悩む必要は。分かる。滅茶苦茶分かるけど、でもさっき言ったように、ほんまに考え方が滅茶苦茶変わってくると思うから、全然いけると思う。結婚できると思う。

**松茂中学校 1年 (cj)** 食べることが大好きな平凡な中学1年生なんですけど、ちょっと恋愛にも興味がありまして。チェリーさんとはなさんの話を聞いて、もうちょっとで結婚しそうな二人がおったとしたら、一人が、あなたってここの部落の人じゃないよねって言って。もう一人が、いや私この



人間だよって言って。そこで別れるとしたら、その時間で無駄だと思うんですよ。せっかくいい関係だったのに、その部落の人ってだけで別れるっていうのは、せっかくいい関係だったのに、意味がないっていうか、そういう感じがしました。ありがとうございました。

**司会者 (be・bg)** ありがとうございました。  
まだまだ発表はあると思いますが、このあたりで全体会午前の部を終了させていただきたいと思います。最後に拍手をもう一度お願いします。

さて、このあと、昼食・休憩となります。お弁当を注文された団体は、お弁当の引換を行いますので、代表の方は1階玄関、受付をした場所へお越しください。なお基本的にお弁当は、この3階大会議室となっておりますので、新型コロナ対策として、距離をとって静かに食べてください。昼食休憩が終わったら、お弁当屋さんがごみをとりに来てくれるので、持って帰る人以外は、1階受付に持ってきてください。また、後から来られて受付をされていない方も、1階受付へお越しください。

さらに、まだ名札をつけていない方は、名前がわからないので、このあとこの大会議室の入り口外の机でつくり、必ずつけておいてください。

なお、午後の部の開始時刻は1時です。遅れないように、元の場所に集合してください。よろしくお願いします。それでは、いったん解散してください。

